常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

衣料品の店
三都屋
三都屋
平市二ノ丁目 172

誤解を招く人事
配置替え新採用に批判
平市役所では四月一日付で一部給仕の雇昇格と配置替えを行うと共に新に四名の採用を発令したがこの人事をめぐつて庁内外から批判の声があがつている。

平市市当局の話によると配置替えは七、八名で当然雇に昇格させなければならない人達を給仕から雇に昇格させ、新に四名を補充採用すると共に一部の配置替えを行つただけであり、四月の新年度を迎えた当然の人事で批判の対象にはならないと云つているが、当然の人事とは云え、

①所内の配置替えを行うのに課長級にも相談せず首脳部専断で行つたこと②新採用は公務員法に基く試験採用が当然であるのに、試験も行わず採用したことは、情実採用と見られても止むを得ない、などがあげられ、特に配置替えについて或る課長は「当然の人事とは言つても配置替えの場合などは一言課長に相談あつてしかるべきだ、首脳部の都合だけで課員が勝手に動かされたのでは、何のための課長だかわからないし、課員のショウあくも出来ない」と批判している。

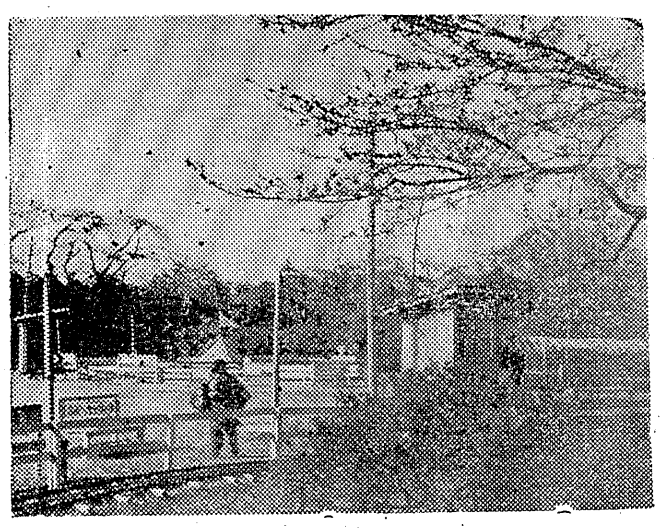
また或る市民は、「市役所では新しい職員を採用したそうだが今ではどんな役所、会社でも、また一般商店でさえ試験採用を行つているのに、試験もやらずに採用することはどうかと思う情実人事であると言われても止むを得まい、極端な人は選挙工作の一環だろうとさえ吹聴している、誤解を受けるような方法はさけるべきでないか」と批判している。

当然の配置替え
新採用は面接を実施

佐藤部長これに対し市当局では「配置替えは行つたが四月の新年度を迎えての当然の人事であり何ら批判の対象にならない。給仕の雇昇格に従つて行つた少数の配置替えに過ぎないのだから庁内で不満のある筈がない。また新採用の件もわずか四名の採用であり、筆記試験は実施しないが面接試験で採用しているのだから情実人事と言うことはあたらない。こんなことにまで選挙云々を結びつけるに至つては話の外である」と語つている。

不合理はある
丹野職組長談

また市職組では「配置替えなども全く一方的である、一応話はあつてしかるべきだ、また新採用も他市ではほとんど公務員法にならつて試験採用を実施している。平市の人事が情実人事だと批判される原因もこのような点を誤解のないように改めないからである。職員の給与の問題にしても一応給与制度は出来ているのだが、首脳部の考えで適当な時に昇給させてしまうのでデコボコが生じている、この点組合大会の決議に基いて善処するよう要望する」と語つている。



客待つ松ガ岡
ときならぬ寒波にひつそり
花はもうすぐ満開です

永い雨が漸くあがつたと思つたら、昨夕から「みぞれ」混じりの霙雨に見舞われ、晴れ間をみせたとは言え、なんとなく お天気は定まらないせつかくポンポリを用意して手ぐすねひいて待つていた松ガ岡公園も、ふくらみかけた桜も一両日の寒波で開ら き切れずにいると云つたあんばい、折角開きかけた桜を見あげる人達は、くもりがちの空もようをにらんではうらめしそう。例年ならば肩をくつゝけアベツクや、はたの目もほゝえましい親子づれで賑わうのに今年は例外のまた例外である。三月の初旬ごろを思わせる此の寒さについて小名浜測候所に聞いてみると「北海道から南にのびている不連続線が東に進んで来たため思わぬ寒波の襲来となつたものだが、県北方部と違つて浜通りは暫時春の気候になつてくるだろう」とのこと…。しかし此の風のつめたさは常一様ではなく本格的「春来る」にはちよつと間がありそうだ。

差押物件を公売
石城地方事務所、更に整理強行

石城地方事務所税務課では十二日県税、事業税などの滞納整理による差押物件、電話、家屋、自動車など五百件の公売を行うが更に四月末を期して平、内郷、常磐、磐城など市街地を中心に差押物件の一せい引上げを行う。

三月末現在の同所管内税金の徴収状況は▽調停額四億六千五百十六万円に対し▽納入済が三億五千八百七万円、▽滞納が一億七百八万円で徴収率は七十六、九パーセント、昨年同期の七十二、六パーセントよりは上廻る成績を示しているが、県下各地方事務所単位の成績では尻の方から数えた方が早い方。二十八年度以前の税金滞納は二千三百万円にのぼつている。

なお炭砿不況、台風被害など昨年より悪条件にありながら本年度徴収の成績が比較的良くなつているのは、①納税組合が普及（現在百三十組合、八千八百人加入、納税額二千三百万円）したこと②一般の納税意識が向上して来た事、などがあげられ更に一段の協力が要望されている。

全日本発明展に入賞
平の四学童

去る二月八日から十三日迄東京都三越百貨店で開催された第十三回全日本学生、児童発明工夫展に平市から七点を提出したが、その内次の四点が入選した旨、平市商工会議所に連絡があり近く賞状、又メタルが授与されることになつた

▽自動ベル装置式アイロン台平二小六年生荒生錦彦、▽電灯自在機平二小六年生佐藤礼子、▽分類式本立平二小六年生渡辺敏彦、▽模写機乗便利机平三中二年坂本道夫、

鈴木候補の演説会

鈴木喜政氏

自由党公認県会議員候補者鈴木喜政氏の街頭演説日程は次の通り行われる。

▽五日、湯本、磐崎▽六日、夏井高久、豊間▽七日、江名、小名浜▽八日、好間、永戸、沢渡▽九日三阪、川前、小川、赤井▽十日、草野、大浦、四倉、大野▽十一日、泉、渡辺、植田▽十二日、錦、勿来、川部、山田▽十三日、上遠野、入遠野、田人▽十四日、内郷▽十五日、湯本、磐崎▽十六日、小名浜、江名▽十七日、永戸、沢渡、三阪▽十八日、内郷▽十九日、好間、赤井▽二十日、草野、夏井、高久、豊間▽二十一日、湯本、磐崎、小名浜、江名▽二十二日、内郷

なお個人演説会は次の通り行われる。▽五日（午後七時）鬼ガ沢＝山本七郎氏方及び平太郎＝佐藤作蔵氏宅（午後七時半）竹之内＝高橋喜一氏宅及び平太郎＝江連晴明氏宅

古河好間労ス解除

賃上げ要求中の古河好間炭砿労組（組合長本間政男氏、組合員二千名）では四日朝一番方より第二次無期限運搬部門ストに突入した、石井副組合長指導のもとに執行部数名が交代でピケラインをはり一日千トンの石炭の運搬をストップさせ成行が注目されたが、五日午前零時二十分円満妥結し昨年十月より十二月分として一時金六百五十円本年一月以降は一カ月当り二百二十円ときまり急転直下解決即時ストを解除した。

平安橋裏口建設を陳情

金古議長、強口、鈴木（寅）水竹各議員ら「跨線橋特別委員会」関係議員らは五日午後三時の列車で上京、高木松吉代議士の案内で運輸省に跨線橋裏口建設を陳情

野澤氏も立候補
平市の県議選二名に

平市部の県議選は馬目武之助氏の独走かと思われていたが、五日正午突如として野沢武蔵氏が供託を済ませて立候補届出をした、これで馬目氏独走の夢は完全に破れたが、他にさきに噂さにのぼつた岡田不二氏及び神谷市郎氏らの動きもみられ以外の混戦になるもようである。

野沢武蔵氏は四日、自由党石城部会事務局長及び平市政問志会幹事長の職を辞し、自由党を脱党して五日正午供託をすませ「無所属」として正式立候補届出をなした。

市青連絡会役員改選

平市青年会連絡会では、四日午後一時から平市公民館に於いて、地区青年会長協議会を開き規約の審議役員の選出を行い次の諸氏が選出された。

給與制度の合理化
九日市職給大会で協議

▽会長木田裕▽副会長地島保▽草野貞雄▽事業局長、松崎栄▽監事矢吹喜作、田中重代郎、村田飯野地区会長

平市役所職員組合では九日午後一時から公会堂本館で組合大会を開らき、三十年度の運動方針 デコボコ給与の調整問題などを協議する。

主なる議題は▽予算決算▽今後の運動方針▽デコボコ給与調整▽合理的初任給と昇給整度の確立▽物資部事業の拡充▽日直、宿直手当（支所）の増額、などであるが、デコボコ調整と合理的初任給制度の確立問題等は組合側も市当局の不当を相当強く批判しており、その成り行は注目されよう。

本社來訪

新任平電話局長永峯健二氏、同庶務課長石井義幸氏は着任挨拶の為本社へ来訪

サクラ祭りボンボリ
あす取りつけ

平市内のサクラ祭りボンボリは雨天のため目合せていたが、公園の花も咲き初めたので愈々明六日、市内の消防団員らが繰出で、駅前三十米大通り、松ガ岡公園附近などに一せいに取りつけることになつた。昔ゆかしいボンボリの点灯は花の平市に一段の風情をそえよう。

天気予報

「今晩北西の風晴のち曇りの天気でしよう

「明日」西ないし南よりの風で晴れの天気でしよう

「海上」風波が多少ありましようが朝晩は穏かでしよう

驛前——昼夜営業
名代 さかえ
支那そば
お花見寿し
一人前百円より
味のシユーマイ
自慢のワンタン
出前迅速——食堂

店舗移轉お知らせ
ウチワ・カレンダー・広告マッチ
嘉見家
旧 渡辺実商店
店舗 平市新川町二五 TEL一九七四
工場 平市鎌田町二九 TEL二二九五

戀も自動車ギヤングも投げ飛ばす天下無敵の熱血漢!!戀と鉄腕が乱れとぶ爆笑とスリルの日活青春痛快篇
坊っちゃん記者
小林桂樹 津島恵子 日高澄子 伊豆はしめ 山村聡
「三分ごとに笑わせる朝花嫁探し」
若旦那の御縁談
高島忠夫 八潮悠子
新東宝特作

クイズ問題？
『愛のお荷物』！
さて「愛のお荷物」とは何をさしてゆうのでしよう このお荷物をお当て下さい
お解りの方はハガキに書いて…民劇へ
正解者抽せんの上五名様一ケ月無料招待
三十名様「愛のお荷物」に無料御招待
締切 四月十二日
発表 四月十三日
6日より民劇

社会の公器（新聞）を私する、いわき民報社々長に一言

住所、氏名、明記のこと
紙上匿名を認めます

三月二十九日の「いわき民報」を見ると「土木条例を改正野沢氏提出、爆弾動議遂に可決」と題して掲げ、また「强口氏のき弁暴露」と難じ次いで「市会記者席」の欄を設けて强口氏の徹底攻撃を行つている、この新聞をみて私は一市民として卒直にかく感ずる。

今度の土木条例の改正は野沢氏と言う議員提出の改正案が議決され将来の土木行政に益する点は多とするもこうした事件、間髪に便乘して一議員たる野沢氏が社会の公器としての新聞の重大使命を私的のため「いわき民報」社長という立場を利用し過ぎて反面殊更に或いは必要以上に相手を非難し攻撃して野沢氏は単なる個人経営の会社工場と異りあくまで公共的立場にあるべき公器としての任務を負う新聞社の社長たることを常にわきまえて、もつともつと公正な立場から真実のみを伝え、悪口の応酬的記事、また江戸のかたきを長崎でうつ、腹いせ如き事は自重して欲しいと要望する。

尚亦革新会という美声にかくれて各地区に於ける强口市議に対する攻撃は誠にみにくいものである、それほどまでに人身攻撃をして市民の尊い一票を欲しいとはあわれむべき存在であると思う、私も去る最終市会を傍聴した一人であるが、大嶽、野沢両市議に一切を発言させ强口市議の答弁を中絶させた事は誠に遺憾であつた。

ある市議は四年間に一言も発言したことなしという陣笠議員もいたが誠に残念に思う、强口市議はとやかくの風評はあるとしても中央との大きなつながりを以て、市のために大きな役割を果たしている事は、私もかげ乍ら聞いている、前市長の遺志を継いだ大なる政治家である、かゝる人こそ真の政治家である、最後に私は野沢、大嶽、志賀三議員に望む、こせこせ政治にこだわらず大きな腹をもつて今後の市政に協力せよ。

（城山MO生）

炭鑛失業の悲劇二題

永い雨があがつて、漸く陽の目をみた桜は、この暖かさが二、三日続けば急ピッチで咲き競い十日の日曜頃は満開になるだろうと人々が桜花に浮かれているとき、不況のドン底にあえぐ中小炭砿労働者の中には、いつ果てるとも知れない不景気旋風におおられて「一家のために売られて行つた娘」の話や、「子供と夫のために自ら苦境に身を沈めた人妻の話」など依然暗い話のあとは断たない。

女中奉公は看板
何時の間にか金に縛られて春を賣らされた娘

川部村A炭砿長屋に住んでいた佐々木悦子さん（三）＝仮名＝は父の働くA炭砿に選炭婦として楽しい日をおくつていたが、夏枯れとともに押し寄せた石炭界の不振で父親共々に会社を首になつてしまつた、離職後父が日雇土工などをして入る金ではとても一家七人の生活は支え切れず、そうかと云つて若い女の働く道もない炭砿街ではどうしようもなかつた、昨年暮に世話する人あつて「東京の女中さん」と云う口車にのり出稼ぎに行つた。最初に連れて行かれたところは、会社の重役宅とも思われるような豪壮な邸宅であり、同家の女中として働かれるという気持で安心した。ところが二、三日過ぎてから「此方で働くんだよ」と云う四十位の女の人と一緒に連れて行かれたところは悦子さんが予想もしていなかつた特飲店であつたと云うのだ。

彼女は驚き、家に帰してくれと泣き泣き懇願したが「お前の体には何万と云う金がかゝつているのだよ」と雇主にいわれ金故に縛られる身のつらさをひしひしと感じながら、いつの間にか先輩達のみようみまねで春を売るようになつていた…。恐ろしいこと…只その一語につきる数日が過ぎると半ばあきらめ切つた感情がわき始め「私が此処へ来たことは父さんも母さんも承知だつたんだ」と親へのうらみも去り「私さえ犠牲になれば一家は救われるのだ」と毎月送る何千円かの金を唯一の心の慰めとして働いていたのである…。

あれからもう半年たつて自分で自分の変つたことに気がつくようになつた。先月末ごろ三日の休みを頂いて実家に帰つて来たが、すでに一旦苦境に落ちた女には故郷は余りにも冷めたいものであつたわびしい心を抱いて再び默つて職場へ帰つて行つたという。

病夫と子供の爲に
自ら身を沈めた人妻

勿来の奥T炭砿も休山一歩前に追いやられた一つである、整理された砿員らは僅かな失業保険金でその日その日をさゝえているが約一年程前から胸を患つて床にふせつていた菅野一さん（三七）＝仮名＝一家の窮状は甚だしく、病苦の夫と育ち盛りの子供を抱えた妻マツイさん（三三）＝仮名＝には今後のことを考えると死ぬ苦しみであつた…此のままでは夫に薬をのませることはおろか、可愛い子供達にもさつぱりした着物一枚買つて与えようがない……そんなマツイさんの心配をよそに旧の正月は日一日近づいて来た。

しばらくして菅野さんの家にマツイさんの母だと云う人が来て子供達の面倒をみている姿がみられそれと同時にマツイさんの姿が消えて行つた、近所の人達がどこに行つたのとたずねてもはつきりした返事はせず、子供達も口を揃えてお母ちゃんは遠いところへ行つて働いていると云つていた、マツイさんが横浜の特飲店で接客婦をしているのをみた人の話から同女が夫と子供を養うため自分から苦界に身を沈めたことを部落の人達は知つたが、唯一人陰口を聞くどころかそうでもしなければ生きて行けない現状に只目をうるませるばかりなのである。

残された子供らは母の苦しみも知らぬげにチラホラと咲き初めたその下で無心に遊んでいるという。

（城山MO生）

八、九日に認定
常磐の一時帰休者

注目を集めていた常磐炭砿の「帰休制度」は三月十九日実施されたが、第一回の認定が八、九の両日に亘つて常磐、内郷市で行われる事になつた。認定とは十九日帰休した労務者がその後引続き失業しているかどうかを確認するもので平職安では両市に巡回職業相談所を開設して、第一次分として四百八十五名に対し認定と離職票の交付を行う事になり、従つて認定を受けた者は二十日ごろに失業保険金が渡される予定でこの総額は五百万円、一人当りの最高支給額は一日四百六十円で最底は二百円である。

今後第一次認定者には二週間毎に保険金が支払われ三カ月後の六月十八日にはもとの職場に復帰する事になつている。又第二次帰休者数は六月十九日に会社側から発表になるが五百名前後とみられ、この為に約千五百万円の保険金が用意されている。

浅海動植物を養殖
平市で計畫

平市商工水産課では、豊間、江名などの浅海養殖の捕獲状況を調査したところ、浅海動物が年々減少の傾向をたどつており、このまま放置しておけば今後の自然繁殖は勿論経済的にも窮迫する事になるので、この浅海にせい息する動植物の繁殖を図る為に、本年度から逐次養殖事業の計画を立てて養殖保護に当る事になつた。

ガソリンスタンド開く
百沢商店

三十米大通に新設中のガソリンスタンドは四月一日多勢のお客さんを招き盛大に落成式を行つた。同営業所は木造モルタル造り白ペンキ塗りの近代的しようしやな建物で市内に美観を呈しておりスタンダード製品を販売し好評を博している。

ニッコーデパート
ニコニコ多加楽市

駅前ニツコーデパートでは一日から十七日まで「ニコニコ多加楽市」を開き特価品数百点よりとり販売ノ又一流メーカーのレンコート大安売り、東京本染ゆかた数百点陳列をしておりゆかたの御予約を承つている。

今晩の映画

聚楽館　十一日まで
他各館　五　日まで

◎民　劇　夜の部　六、五五
長脇差大名　地獄の用心棒
◎平　館　夜の部　六、五五
飛龍の門　喧嘩奴
◎ひかり座　夜の部　六、五〇
女の獄舎　遠い国
◎世界館　夜の部　六、五六
血槍富士　火のぱく走
◎聚楽館　夜の部　六、三〇
テオドラ　ホワイトクリスマス

お花見の
折詰、仕出し
お値段は如何様の……
御相談にも応じます……
割烹
開花
平市田町　TEL1389

明るい
静かな
スタンドバー
若草
平市紅小路（大床横）